

会 議 録

1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第3回定例会

2 開 催 日 時 令和5年12月15日(金)9時30分～11時30分

3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール

4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】17名

根本 修身 小出 京子 小山百合子 石川 泰子 青木 健
市川 一成 実形 昭夫 平野 進 室前 恵子 秋元 豊
原田 洋子 小倉 博史 澤邊 賢司 鈴木 和幸 山下紀世美
鶴岡 俊之

【公民館長】11 名

水越 学（中央公民館） 出口 雅彦（東清公民館）
唐鎌 勲（富来田公民館） 多賀 一也（清見台公民館）
相場 明彦（岩根公民館） 佐藤 千明（鎌足公民館）
岡田 清治（中郷公民館） 河野 勝（波岡公民館）
星野 隆弘（富岡公民館） 渡邊 祐二（桜井公民館）
小倉 敏幸（文京公民館）

【金田地域交流センター/金田出張所】2 名

能城 明大(金田地域交流センター長)
石田 美鈴(金田出張所長)

【事務局職員】2名

進藤 颯（中央公民館事務員）
宮城三津子（社会教育指導員）

5 議題及び公開又は非公開の別 公開

議案第1号 令和5年度公民館まつり実施報告及び公民館視察研修実施結果について

議案第2号 諮問答申小委員会の設置について

グループディスカッション(ワールドカフェ調)

テーマ

- ①公民館のよいところ、悪いところ
- ②公民館の地域での役割
- ③稼働率を上げるには

6 傍聴人の数 1人

7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した(20名の定員に対して17名の出席)ので、本会議が成立したこと、及び、本会議は公開制であることを報告し、令和5年度木更津市立公民館運営審議会第3回定例会を開会する。委員長挨拶の後、委員長の議長により議案審議に入る。

青木委員長 それでは、これより議事を進めさせていただきます。

議案第1号「令和5年度公民館文化祭(まつり)及び視察研修の実施結果について」審議を行います。今年度の各地区文化祭に関して、主な取り組みや特徴的な内容、その成果と課題等について、公民館については代表して水越中央公民館長より報告をお願いいたします。

また、関連していますので、そのあと、金田地域交流センターで開催された文化祭の説明を能城所長、石田出張所長よりお願いします。その後、質疑応答にはいりたいと思います。それでは、説明をお願いします。

水越中央公民館長 ハイ議長 私から今年度の公民館文化祭総括として報告させていただきます。

文化祭に関する資料としてはP2 からとなっておりますので各館の報告についてはそこをご覧ください。今年度はコロナも5類に引下げられた事によって本格的な地区文化祭開催への再スタートとなりました。

なお、清見台公民館が開館40周年 波岡公民館が開館30周年を迎え それぞれ記念式典を前後絡めながらの文化祭を開催しております。

今年度の視察については昨年度の「滞在時間が短い」との反省点から半分の7館の視察とし 畑沢、波岡、八幡台、鎌足、富岡、富来田、東清を視察させていただきました。

各館の滞在時間を20分程度設け、視察委員と地域の方々との歓談の時間も取れ各文化祭の特徴や地域性なども広く見聞できた事と考えております。来年度は残りの8館を巡る予定となっております。

今回の視察をとおり地区文化祭の様子からこれまでとは違う空気を感じた点があります。それは参加・運営されている方々の眼差しや、かけてくれる声に、うまく言い表せないのですが、「温かさ」のようなものを強く感じ取れました。作品説明をして頂いた方々の声には「力」があり、併せて「喜び」のような感情を感じとれました。

この3年間 感染パンデミックにより私たちの生活スタイルも大きく変わりました。人の交流の制約からの急速な社会のデジタル化がはじまり、接しないコミュニケーションが求められ、人的交流の激減と地域の分断化が進んだことはご周知のとおりでございます。この受け入れざる得ない社会環境に、特に公民館を利用されていた多くの方々においては「違和感」を強く感じていたのではないのでしょうか？

そして約3年振りに戻ってきた制約ない地域文化祭・久しぶりに顔を合わせた地域の方々人によっては3年振りに再会した！という方もいたのではないのでしょうか？私自身も以前お

世話になった方と3年振りに声を交わす事が出来「懐かしさと喜びが」湧き上がってきました。そうなんです。私が参加者から感じ取れた感情は正にこの事からきているのではないかと考えております。

地区文化祭は地域のお祭りなのでしょうか？公民館での学習成果発表会なのでしょうか？今年度開催された文化祭は改めて「地域で文化祭」を実施する「意義」や「意味」を私たち一人一人に問いかける文化祭であり、職員と参加する皆さんがそれを確認・感じる事ができた文化祭だったのではないかと考えております。

青木委員長 続けて金田地域交流センター長をお願いします。

能城所長 今、センター長をしております。能城明大と申します。金田地域交流センター文化祭として、ご報告をさせていただきます。…伝えよう金田の魅力ということで、10月29日の1日間。9時から15時、前は9時30分からでしたが、今回は発表の団体数の関係で、30分の前倒しで始めさせていただきました。協力団体に関しましては展示の部門が5団体、発表の部門が12団体、物産部門6団体、体験、コミュニティカフェ等まちづくり協議会の協力を得て3団体。総来場者数は1200人となっております。

今回、コロナ禍も明けまして、緩和状態でのスタートにはなりましたが、来場者数の入れ替えも多く、同時の来場者数も多かったため混雑状況にもなりました。公園と裏手の駐車場やイベント広場の芝生の広場も駐車場として利用しましたが、台数が足りなかったため、隣の本更津アウトレットパークや隣のお店の駐車場もお借りしました。それでも駐車場の台数が足りない状態でした。今回は午前中に人数が偏ってしまったため、今後は午後の部にももう少し分散していければと考えております。後日、来場者の方にアンケート等を行った結果ですが、発表内容が利用者主体で行ったためフラダンスに偏り、楽しめる内容ではなかった等の意見も伺っております。若い世代には人気でしたが、金田地域に古くから住んでいる方からもう少し地区の良さを活かした内容とのご相談もありました。

続きまして収支内容ですが、こちらはサンコー株式会社から15万円の方を出させていただきます。支出は、12万5千円となっております。こちらは関係団体への支出や協力金、お願いの支出となっております。最後に裏手の2枚目をご覧ください。文化祭の当日の写真となっております。

何か気になる点がございましたら、よろしくお願いします。

以上となります。

青木委員長 続けて、石田出張所長をお願いします。

石田出張所長 はい、出張所長の石田でございます。こちらはまちづくり協議会の事務局となっております。こちらの方で文化祭の中で、コミュニティカフェを運営させていただきました。300人前後来場者があったとの報告を受けております。まちづくり協議会は実行委員会のメンバーにも入っていますけれども、今回、はじまりと終わりの締めがよくなかったのではないかと。意見を

頂いております。また、実行委員会のあり方についても、来年度以降、センター長、出張所長で話し合って進めてまいりたいと思っております。こちらからは以上です。

青木委員長 ただいまの説明に対して、ご質問やご意見や気づいたことについて、挙手のうえ、氏名を述べてから発言をお願いいたします。

 ないようでしたら、議案第1号文化祭の実施報告については承認されたものといたします。続きまして、29日には文化祭視察を実施しました。この件につきましては、参加した委員から感想を頂きたいと思います。山下委員お願いします。

山下委員 視察の方は前は短かったですが、今回は長かったかなという気がしました。イベントとか模擬店とかだいたい似たような内容で、サツマイモの販売が多かったかなと思います。以上です。

青木委員長 当日は、各地域の特色や取り組みなどを地域の方々に話を伺いながら予定どおり拝見することができました。公民館の地区文化祭運営が地域の方々の交流と文化の継承につながり、地域づくりの一助となっていることが実感できたと思います。

 今後も、それぞれの地域で、実りのある取り組みが展開されることを期待しております。よろしくをお願いします。

青木委員長 それでは次に第二号議案諮問答申小委員会の設置について説明をお願いします。

水越中央公民館長 さて、皆さんもご周知のことと存じますが、今年の5月、10月に開催されました総合教育会議の席上にて市長より「公民館のコミニティーセンター化」についての発言がございました。このことについて市内全15公民館長は新たに諮問答申に向けて動いてゆく必要があると判断し、答申小委員会を設置して頂き委員の選出をお願いしたいと存じます。

青木委員長 委員構成について事務局で、案はありますか。

渡邊桜井公民館長 はい、事務局では別紙1をご覧ください。公民館職員(渡邊館長・甲斐副主幹・瀬川副主幹・堀田主査)と公運審委員より(青木委員長、鶴岡副委員長、市川副委員長、秋元豊委員、鈴木委員、室前委員)を役員経験者、委員経験年数、公民館利用者の立場等、幅広い立場の方に入って頂き、市民にとってますます有意義な施設となりますように、構成委員の提案をさせて頂きます。

青木委員長 只今の説明につきまして、ご質問、ご意見のある方は、挙手をお願いします。

秋元委員 はい 議長

青木委員長 秋元委員、お願いします。

秋元委員 座ったまま意見を述べさせていただきます。委員に私の秋元の名が入っていますから、みなさんにお伺いしたいのですが、私はコミュニティセンター反対派なのです。早急にいろいろ調べて、これはまずいなと思います。委員に入っているのか皆様に伺います。公民館とはなんぞやなどの議論を活かして頂ける方の方が良いと思います。私は地域の自治会の役員も担っておりまして、地域の実態から判断するとコミュニティセンターは昔から無理だと判断しています。このような人物がメンバーに入っているのか、皆様に伺いたい、判断を仰ぎたいと思います。

青木委員長 秋元委員の意見に対しましていかがでしょうか。

加山委員 はい、委員長

青木委員長 加山委員、お願いします。

加山委員 私は、コミュニティセンターといわれても、公民館と何が違うのかわかりません。その辺の説明を頂きたいのですが

青木委員長 事務局で説明をお願いします。

渡邊桜井公民館長 はい、議長 公民館は国の定めている社会教育法に基づく教育施設です。コミュニティセンターは地方自治法に基づき設置され、地域コミュニティなどの推進を目的とした施設で法的根拠の違いがあります。なお、コミュニティセンターは教育施設ではありませんので、市の条例においてセンターで行う業務について定めて運営しています。ここで違い等を検討すると長い時間を要することにもなると思いますので、本日は、公民館、コミュニティセンターの情報もこの小委員会で勉強、情報収集し、必要に応じてみなさまに情報提供し、今後、諮問答申等を行う必要性が発生した場合に、市民にとってベストな答えができるように小委員会で活動させて頂ければと思います。

秋元委員 はい、委員長、

青木委員長 秋元委員お願いします。

秋元委員 公民館とコミセンの違いは、教育委員会が関係してできている。戦後混乱して人材の確保などいろいろな混乱の中で人材のレベルをあげるなど中心となっていました。コミセンは私もよく知らなくて調べたのですが、1960年代に自治省がコミュニティセンターをつくりました。それは何か住民が自分で運営して、住民が行動していく場所ということで作られ

ました。はっきりいって位置づけが明確でない。なんでもできます。城を作ったような感じ
です。では現在どのようになっているかという、それを継ぐ人間がいないとか、色々偏っ
た問題が出てきているとか。よさそうに見えるけどあまり変わらない。住民が集い色々考
えて施設を利用する。公民館は職員がいて、職員が色々サポートしてくれる。地域の色々
な勉強を行ってくれている。コミセンは住民主体ですから、住民が住民の相談にのったりす
るような、自治会にかかわっている立場から、人によって色々状況が変わってしまいます
ので、やはり第三者的な立場で公務員などが入っていないと偏ってしまうのかなとこれは
私の判断です。住民が自主的に運営するかどうかの違いです。

青木委員長 他にご意見等がありますか。ないようでしたら、第2号議案の委員選出について賛成の
方は、挙手をお願いします。

賛成多数により、第2号議案は可決されました。

私を含め、委員となったみなさんと、様々なことを研鑽し、市民にとって意義のある委員会
にしたいとがんばりたいと思いますので、今後ともみなさまのご協力をお願いします。

以上で、議案に関する議事を終了いたします。

青木委員長 次に、報告事項に移ります。

各選出委員からの活動報告です。報告のある委員の方は、説明をお願いします。

鶴岡委員 本日、この後、社会教育委員会議が開催されますが、主な議題は、吾妻地区の複合施設に
ついてで、総合教育会議の議事録の資料はありますが、おそらく協議する時間はないかと思
います。1月にまさしく今後の公民館のあり方について臨時会議が開催されると、昨日連絡
がありまして、本日の内容を踏まえて公運審の立場を述べてまいりたいと思います。総合教
育会議の内容は大変重たい内容で、皆さんの総意を述べて参りたいと思います。公民館は
地域の核だという考えで参加させて頂きたいと思います。以上です。

小山委員 図書館協議会は前回の公運審以降に会議はありません。

青木委員長 ありがとうございます。次に、(2)令和元年度君公運審連・君公連合同研修会及び
(3)千葉県研究大会について事務局の説明をお願いします。

渡邊桜井公民館長 別紙の資料をご参照ください。12月22日までに参加のご希望があれば、事務局でま
とめて参加申し込みをさせて頂きます。なお、移動研修は席数に限りがありますので、希望者
多数の場合は、ご相談させて頂く場合があります。また、千葉県の公民館研究大会は、今年度
は、参加費がありませんので、少人数であれば、当日参加も可能だと伺っております。また、
本日、帰りに参加の希望がある方は受付をさせて頂きます。

青木委員長 ありがとうございました。他に何かありますか

渡邊桜井公民館長 はい、委員長

青木委員長 渡邊館長お願いします。

渡邊桜井公民館長 はい、実は青木委員長が長年の功績を認められ、千葉県公民館連絡協議会より功労表彰を受賞しました。事務局で賞状をお預かりしておりますので、水越館長よりお渡したいと思います。

表彰式賞状授与

青木委員長 ありがとうございました。他に何かありますでしょうか。

水越館長 はい、議長、私からは、総合教育会議に説明された内容を1月18日(木)公民館運営審議会の臨時会議を開催し、経営改革課から説明を受けたいと思いますので、よろしくお願いします。

青木委員長 ただ今、臨時会議の説明がございました。1月18日出席の程よろしくお願いします。

青木委員長 他にないようでしたら、ここで5分間の休憩に入ります。

休憩(10:10～10:15)

青木委員長 これから、グループディスカッションワールドカフェとなりますので、事務局にお任せし、私は議長の任をおろさせていただきます。慎重・審議をいただきまして、ありがとうございました。

水越館長 ワールドカフェに入る前に、少々お話をさせて頂きたいと思います。経営改革課の公民館のコミュニティセンター化ですが、この後の1月18日にどのような意図がある発言であったのか、担当部署の課長をお呼びして、説明会を開いていきたいと思います。今年度より審議員になりました方もいますが、審議員の皆様においても公民館が存在する意義や役割などについて、正直なところわかっているようなわかっていないような、というような面があるのではないかと思います。それを踏まえて、皆さんの公民館への考え方や理解を深めるワールドカフェを実施したいと思っています。今後の議論、審議を深めていくための自分の認識や他者の認識を広く知ってもらって、今後の審議の一助として頂きたいと思います。ルール等については、渡邊館長の指示に従って行いたいと思います。

渡邊館長 それでは、グループディスカッション、ワールドカフェに移りたいと思います。別紙に示したとおり、この方式は経験や知識を問わず気軽に意見を出し合い、その中から自分と違う、同じだなど意見交換して、よりベターな発想を生み出す方法です。ですが、少々時間が短いので、本日はとにかく意見を出し合って、何かそれぞれに違う意見など発見して頂ければと思います。

なお、ホストの方は班のテーブルから移動せず、司会進行と前の班員で出た意見を説明し、次のテーマの参考となるようにしてください。それ以外の方は資料のとおり班を移動して意見を付箋に書いて模造紙に張り付けてください。

3つのテーマは最終的に連動しています。前の意見を参考にしながら次のテーマの意見を考えてみてください。

時間配分	1テーマ	公民館の良い所、悪い所	10:20～10:40	もう一度良いところ悪いところを確認
	2テーマ	地域での公民館の役割	10:40～11:00	良さを生かした役割確認
	3テーマ	稼働率を上げるには	11:00～11:20	良さや役割を考えて

ワールドカフェ開催

内容まとめ

1テーマ 公民館の良いところ・悪いところ

★良いところ

●利用・運営面関係

1班

- ①安心して使える
- ②だれでも使える

2班

- ・自由な雰囲気での出入りできる。

4班

- ・気軽に子ども達が来れる場所

5班

- ①公民館職員の対応、色々相談にのってくれる。
経験のある人、親切な人が多い
- ②利用者は公民館に信頼はある。もっとアピールしては・・・
- ③ボランティアグループが立ち上がって、今でも継続して活動している

6班

- ①利用料金が安い
- ②地域の人が歩いては入れる。
- ③サークル活動を応援して頂ける。

●公民館の存在・イメージ関係

1班

- ①地域の方たちの集まる場になっている
- ②地域の拠点、拠りどころ、大人でも学べるところ
- ③地域の人たちの出会いの場

3班

- ①年輩者が集まる
- ②中学校区にあるということ good
- ③いつでも 気軽にいける
- ④防災設備の充実

5班

- ①誰でも集まれる。子どもからお年寄りまで
- ②自治会で役員会を行って参加者が少ないが、公民館で行うと参加者が増える
- ③中学校よりは、催事を行うのに人が集まりやすい
- ④地域の会議の場所が公民館になっている。

2班

- ①地域の情報があつまる
- ②誰でも年齢等に関係なく利用できる
- ③年代に関わりなく幅広く使える
- ④地域のことを聞きやすい
- ⑤地域との関係が深められる

4班

- ①地域交流の場となっている。
- ②その地域の人々が自然に集うことができる場所
- ③「地元」意識が強くなる場所
- ⑤公民館は地域交流の場・みんなの集まる場

6班

- ①災害時にたよりなる。
- ②地域住民が集まることのできる施設
- ③防災の拠点(安心)
- ④災害時の避難場所
- ⑤学習、社会教育の場

●事業・イベント関係

2班

- ①新しい情報を考えてくれる。
- ②地域を繋ぐ役割を担っている

3班

- ①イベントが多数あっておもしろい
- ②子育て・福祉・交流等をバランス良く教育的事業を行えている点

●広報・情報配信関係

3班

- ・地域の拠点 行けば情報がわかる

★悪いところ

●利用・運営面関係

1班

- ①利用者の固定化 高齢化 未来への展望が難しい
- ②行きづらい
- ③人事異動の関係で変わる
- ④職員によって対応に差がある。
(貸してやっている感)

4班

- ①若い世代の利用が少ない
- ②住民の一部の利用で偏っている。

6班

- ①目的外は4倍の利用料金
- ②地元の人と新たな住民との温度差がある
- ③利用者の後継者が育たない
- ④利用者が同じ人が多く、かたよっている。

2班

- ①男性の利用者が少ない
- ②予算が少ない
- ③使用について一定のバイアスがかかる

3班

- ①市民課業務の手数料はコンビニと同じに
- ②コンビニ発行と公民館窓口発行の手数料が違う

5班

- ①利用状況を考えるとデジタル化？申し込めない人もいるので、アナログも対応を続けて欲しい
- ②公的な人が多い、民間がもっと使いやすくして欲しい

●公民館の存在・イメージ関係

3班

- ①入りやすい雰囲気ではない
- ②明るく、クリーンなイメージがない。
- ③あそこに行ったら面白いと思う事が感じられない
- ④若い人、子どもが行きづらい
- ⑤なんでも同じと思いますが、はじめて行くハードルが高い

5班

- ・集まる人が限定されている。

2班

- ①講座の参加者が集まらない
- ②主催事業の人が少ない
- ③当日休みの時に対応できる行事がない

6班

- ①公民館の活動がわかりにくい
- ②地域によって、避難所にならない。
- ③敷居が高いと感じている人がいる。
- ④利用世代が限定されてる。若者は知らない
- ⑤若い世代の人が集まりにくい、関心がない

●広報・情報配信関係

1班

・公民館とは何か、ということが浸透していない。

5班

- ①町内会長になるまで、公民館を知らなかった。
市民に対するアピールが欲しい
- ②公民館を知っている人が一部の人、公民館の場所を知らない。何をするとところか知らない
- ③主催事業は良いことをやっているが、参加者が少ない。もっと早くから周知を
- ④公民館主催事業の参加者が15%ぐらい・・・もっと周知を

3班

- ①公民館の存在を知らない人が多い
- ②何を行っているところか良くわからない

●施設・設備関係

1班

・使い勝手が悪い 駐車場が遠い

5班

- ①地盤が低い公民館は、津波、高潮等の不安がる
- ②トイレの設備が悪い

2班

- ①建物が古い
- ②建物が古く、部屋が暗い

2テーマ 地域での公民館の役割

●利用・運営面関係

2班

- ①市の窓口 市民課窓口 出先機関
- ②まちづくり協議など地域の住民会議の事務局

3班

・証明書発行業務をどの公民館でできるように、

4班

- ①人との交流
- ②公的ボランティア(区長・民生委員・まち協等)の活動の中心として役割
- ③各団体の調整役
- ④地域の世代間をつなぐ
- ⑤郷土愛を育む

5班

- ①人と人をつなぐ
- ②各団体の活動をつなぐ、支える。
- ③地域の課題を話し合える場(まちづくり協議会)
- ④常連の方々の集まる場所

6班

- ①市民の自主生活を支える
- ②国体活動の支援
- ③高齢者・若い人 役割を考えてくれる。
- ④地域問題を解決

●公民館の存在・イメージ関係

1班

- ①地域住民の防災拠点
- ②防拠点
- ③防災活動の拠点
- ④かけこみ寺
- ⑤地域住民のつながりの場
- ⑥地域団体の会議の場・催事場

4班

- ①地域の人がつながる場 交流・防災の拠点・楽しい時間を過ごせる場
- ②みんなが気軽に立ち寄れる場所
- ③学習の場
- ④防災
- ⑤いやしの場
- ⑥開かれた空間

6班

- ①地域の様々な団体の拠点となる場所
- ②自分たちの地域意識がもてる場所
- ③地域の「域」のシンボル
- ④学びの場
- ⑤防災(避難場所)・福祉(見守り・気づき)
- ⑥日常の避難所(トイレ・雷雨・怖い人・不審者)
- ⑦防災の拠点
- ⑧地域住民の交流の場

2班

- ①防災の拠点
- ②防災の時の拠点
- ③情報交換をするところ
- ④子どもから高齢者まで来る
- ⑤地域の人が集まる場所
- ⑥地域のあらゆる世代の人が集まる所
- ⑦地域のあらゆる活動の拠点になる場所
- ⑧人に接触したい時に行く場所
- ⑨地域交流の場

5班

- ①学びの場
- ②生きがいづくりのきっかけ、健康づくりを提供してくれる場
- ③避難所(地域の防災拠点)
- ④避難所として整備されている、安心できる設備
- ⑤情報が集まっている
- ⑥情報の集まる場、避難活動の拠点
- ⑦地域の拠点(全体)
- ⑧地域全体の会議の場

●事業・イベント関係

1班

- ①社会教育の場(スマホ教室・パソコン操作)
- ②何かをやるための援助
- ③活動の場の提供 人と人のつなぎ

3班

- ①その地域の年齢に合わせた事業計画で人を集める

4班

- ①コミュニティカフェに一般人を入れ込む
- ②フリースペースの利用促進

2班

- ①イベントなど交流の場
- ②地域の活性化
- ③安全安心をつくるために人との繋がりを作る
- ④子ども達の社会に向けての場
- ⑤知りたいことを知る場(学習活動含む)

5班

- ①現代の課題に沿った学習の場の提供
- ②地域課題にあった講座の開設
- ③地域の行事、イベントの事務局として助かる

6班

- ①行事のやり方が違う
- ②教室・講座の開催
- ③学びの場・相談場所
- ④文化祭を含めイベント開催

●広報・情報配信関係

2班

- ・地域の情報発信の中心

6班

- ①情報を考えてくれる。
- ②地域へ様々な情報等を発する中心となる
ところ
- ③地区内のお知らせ等を伝える。

3テーマ 稼働率を上げるためには

●利用・運営面関係

1班

- ①土日の営業充実(指定管理も検討か)
- ②土日は働く人たちの優先使用化
- ③民間事業の使用充実

2班

- ①土日利用が難しい 条件が多い
- ②若い世代が使いやすい工夫をする
- ③利用の仕方がわからない
- ④当日利用ができるようにする。
- ⑤利用時間帯の改善

3班

- ①明るく(採光の方法を検討する)
- ②掃除(日々の掃除を重点に)
- ③公民館運営のエキスパート職員の育成
- ④町内会にアンケートを協力依頼する。

4班

- ・利用者の幅を広げていく(利用者が偏っている)

6班

- ①入しやすい入口にする
- ②利用者が求めるものを把握、アンケートなど実施
- ③より利用しやすいところにする。

5班

- ・公民館を使える内容をもっと柔軟に考える
(使いやすいように)

●公民館の存在・イメージ関係

3班

- ①話しやすい雰囲気
- ②敷居を低く

●事業・イベント関係

1班

- ①アクアコインとの連携
- ②地元の先輩に学ぶ 講演会など
- ③小学校で行っている地域の動きへの協力
- ④学校との連携強化
- ⑤学校、特に中学校の活動・連携、自習教室の全館実施

2班

- ・カラオケの活用

3班

- ①主催事業を多く
- ②社会教育の一環として出張講座の開催 町内集会場など利用
- ③子どもに対してのイベント(親と一緒に来る)
- ④住民の知りたいことを調べてイベントを実行
- ⑤親子のイベント
- ⑥各サークルを活性化するためサークルと共同で実行を考える
- ⑦事業を他団体との共同開催を検討
- ⑧住民が関心のある事柄の事業を
- ⑨地域の歴史をわかりやすく事業を行う。

4班

- ①魅力のある講座
- ②公民館同士での交流・企画
- ③若い方のサークル立ち上げ
- ④魅力ある講座の開催
- ⑤若い人との意見交換
- ⑥楽しいこと。ワクワク感が必要
- ⑦間口が広く選べる行事
- ⑧人が集まりやすいイベントや行事を企画
- ⑨子どもを公民館に呼び込む
- ⑩若い世代の利用者の拡大

5班

- ①子どもたちに来てもらえることを第一にしてい
き、そこから大人の方へつなげていく
- ②公運審の会議に20から30代のメンバー参加さ
せる。
- ④教育というテーマを捉えつつも、楽しさをもっ
と追加する
- ⑤若い人が興味を持てそうなテーマやイベントが
必要
- ⑥地域(自治会等)の催しを工夫して利用を促す
- ⑦個人利用を増す 自由な発想

6班

- ①各団体の長とタイムアップ
- ②青少年の取り込みイベント(例:スポーツなど)
- ③子ども達の取り込み
- ④主体的にこまめに催し物を開催する。
- ⑤子ども達の遊びの場を提供する→親子参加が
興味をもってくれる。
- ⑥事業の見直し
- ⑦外部と連携して企画をしていく

●広報・情報配信関係

1班

- ①若い人、初心者が入りやすいようにする (施
設・口コミ・足)
- ②子ども食堂から若年層の関心をあつめる。

3班

- ①公民館とは何か知ってもらう
- ②各館のHPに貸館情報を載せる
- ③公民館の存在を市民全体に広く知らせる

4班

- ①核となれる人の発掘、働きかけ
- ②公民館が何を行っているか積極的に広報
(SNSの活用)
- ③色々な人への声掛け

5班

- ・イベント、宣伝、周知のさせ方の工夫

6班

- ①広報活動の充実
- ②情報の発信、SNS等の利用

●施設・設備関係

1班

- ①バリアフリー・駐車場の充実
- ②シェルター機能設置
- ③若年層の趣味を受け入れる。スペースをつくる

2班

- ・2～3名で使えるフリースペースの設置

4班

- ・フリースペースの設置、活用

5班

- ・だれでも使えるフリースペースの拡大

3班

- ①駐車場を多く
- ②建物をきれいに
- ③設備を良くする
- ④建て替え 新しい施設を
- ⑤設備の充実 トイレ・照明

●その他

1班

- ・稼働率の算出方法がわからない

渡邊館長 申し訳ありません。時間となりました。本来ですとみんなで内容を確認したりするのですが、時間の都合上、内容は事務局でまとめさせて頂き、後日、皆様に資料を配布したいと思います。資料の内容を参考に、また、公民館について考えてみてください。なお、今回で公民館を考える機会は終了とは考えていません。初めの一步と思っております。必要に応じてまた考える機会を設けさせていただきますので、ご協力の程よろしくお願いします。

これを持ちまして、第3回定例会を終了します。お疲れさまでした。